

試験日	令和8年1月20日	受験番号	
-----	-----------	------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名

受験者の氏名

(注意事項)

- 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るもの）を除く）を指します。
- 設問の文中には、法令上の表現（固有名詞を除く。）を一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（　　）内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】（事業計画）

貨物自動車利用運送を行わないとして一般貨物自動車運送事業の許可を受けてい
る事業者が、利用運送を行うとする事業計画の変更をしようとするときは、あらかじ
めその旨を、国土交通大臣に届け出なければならない。

（　　）

問2 【貨物自動車運送事業法】（安全管理規程等）

国土交通大臣は、安全統括管理者がその職務を怠った場合であって、当該安全統括
管理者が引き続きその職務を行うことが輸送の安全の確保に著しく支障を及ぼすおそ
れがあると認めるときは、事業者に対し、当該安全統括管理者を解任すべきことを命
ずることができる。

（　　）

問3【貨物自動車運送事業法】

(他の一般貨物自動車運送事業者の行う貨物の運送を利用する場合の措置)

一般貨物自動車運送事業者は、自らが引き受ける貨物の運送について他の一般貨物自動車運送事業者の行う運送（自動車を使用しないで貨物の運送を行わせることを内容とする契約によるものを除く。）を利用するときは、当該他の一般貨物自動車運送事業者に係る一般貨物自動車運送事業の健全な運営の確保に資するため、次に掲げる措置を講ずるよう努めなければならない。

- 一 その利用する運送に要する費用の概算額を把握した上で、当該概算額を勘案して利用の申込みをすること。
- 二 自らが引き受ける貨物の運送について荷主が提示する運賃又は料金が前号に規定する概算額を下回る場合にあっては、当該荷主に対し、運賃又は料金について交渉をしたい旨を申し出ること。
- 三 当該他の一般貨物自動車運送事業者が更に他の一般貨物自動車運送事業者の行う運送を利用する場合に關し二以上の段階にわたる委託の制限その他の条件を付すること。
- 四 その他一般貨物自動車運送事業の健全な運営の確保に資するためのものとして国土交通省令で定める措置

()

問4【貨物自動車運送事業法】（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者が、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしたときは、国土交通大臣は、事業者に対し、当該行為の停止又は変更を命ずることができる。

()

問5【貨物自動車運送事業法施行規則】(事業遂行能力の審査)

国土交通大臣は、貨物自動車運送事業法第3条の規定による許可の申請が同法第6条第3号に掲げる基準に適合するかどうかを審査するに当たっては、次に掲げる事項に関して審査するものとする。

- 1 一般貨物自動車運送事業を適確に遂行するために必要な資金に関する計画
- 2 健康保険法等の定めるところにより納付義務を負う保険料等の支払能力
- 3 貨物の運送に関し支払うことのある損害賠償の支払能力
- 4 一般貨物自動車運送事業を適確に遂行するために必要な法令に関する知識
- 5 前各号に掲げるもののほか、事業を適確に、かつ、継続して遂行するために必要な能力に関する事項

()

問6【貨物自動車運送事業法施行規則】(事業の譲渡し及び譲受けの認可申請)

貨物自動車運送事業法に定める一般貨物自動車運送事業の譲渡し及び譲受けの認可申請書には、譲受人が現に一般貨物自動車運送事業を経営している場合にあって、既存の法人にあっては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書を添付しなければならない。

()

問7【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(過積載の防止)

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送を行うときは、運転者、特定自動車運行保安員その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。

()

問8【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(事故の記録)

事業者等が事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、「事故発生当時の天候」は、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項である。

()

問 9 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運転者等台帳)

事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定する運転者台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを一年間保存しなければならない。

()

問 10 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(従業員に対する指導及び監督)

貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、当該貨物自動車運送事業に係る主な道路の状況その他の事業用自動車の運行に関する状況、その状況の下において事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な運転の技術及び法令に基づき自動車の運転に関して遵守すべき事項について、運転者に対する適切な指導及び監督をしなければならない。この場合においては、その日時、場所及び内容並びに指導及び監督を行った者及び受けた者を記録し、かつ、その記録を営業所において三年間保存しなければならない。

()

問 11 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運行管理者の業務)

運行管理者が行わなければならない業務として、「日常点検の実施結果に基づき、自動車の運行の可否を決定すること。」がある。

()

問 12 【自動車事故報告規則】(速報)

事業者等は、その使用する自動車について、2人以上の死者を生じた事故があったときは、電話その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

()

問 13 【道路運送法】(有償運送)

自家用自動車は、有償で運送の用に供してはならない。ただし、災害のため緊急を要するときや、公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において、国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するときは、この限りでない。

()

問 1 4 【道路運送車両法】(定期点検整備)

一般貨物自動車運送事業の用に供する自動車は12ヶ月ごとに、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

()

問 1 5 【道路運送車両法】(自動車検査証の記載事項の変更及び構造等変更検査)

自動車の使用者は、行政区画又は土地の名称の変更により、自動車検査証の記載事項について変更があったときは、その事由があった日から道路運送車両法の定める期間以内に、当該事項の変更について、国土交通大臣が行う自動車検査証の記入を受けなければならない。

()

問 1 6 【道路交通法】(駐車を禁止する場所)

車両は、道路交通法に定める規定により駐車する場合に当該車両の右側の道路上に3.5メートル(道路標識等により距離が指定されているときは、その距離)以上の余地がないこととなる場所においては、駐車してはならない。ただし、貨物の積卸しを行う場合で運転者がその車両を離れたとき、若しくは運転者がその車両を離れたが直ちに運転に従事することができる状態にないときは、この限りでない。

()

問 1 7 【労働基準法】(労働条件の決定)

労働条件は、労働者が使用者(※)より優位な立場において決定すべきものである。

(※使用者とは、労働基準法第10条で規定されている者をいう。)

()

問 1 8 【労働基準法】(年次有給休暇)

使用者は、その雇入れの日から起算して6箇月間継続勤務し全労働日の8割以上出勤した労働者に対して、継続し、又は分割した10労働日の有給休暇を与えなければならない。

()

問19 【労働安全衛生法】(重量表示)

一の貨物で、重量が1トン以上のものを発送しようとする者は、見やすく、かつ、容易に消滅しない方法で、当該貨物にその重量を表示しなければならない。ただし、包装されていない貨物で、その重量が一見して明らかであるものを発送しようとするときは、この限りでない。

()

問20 【私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律】(総則)

この法律において「不当な取引制限」とは、事業者が、契約、協定その他何らの名義をもってするかを問わず、他の事業者と共同して対価を決定し、維持し、若しくは引き上げ、又は数量、技術、製品、設備若しくは取引の相手方を制限する等相互にその事業活動を拘束し、又は遂行することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に制限することをいう。

()

II. 次の記述について、設問に該当するものを選択肢の中から選び()内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】(運賃及び料金等の掲示)

事業者が、運賃及び料金（個人を対象とするものに限る。）のほか主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならないものとして貨物自動車運送事業法で定められているものはどれか。次のア～エの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行管理者資格者証
- イ. 営業区域
- ウ. 運送約款
- エ. 自動車車庫の位置

()

問2 【貨物自動車運送事業法】(書面の交付)、

【貨物自動車運送事業法施行規則】(書面の交付)

貨物自動車運送事業法および貨物自動車運送事業法施行規則において、運送契約を締結するときに交付しなければならない書面に記載する事項として定められているものはどれか。次のア～ウの中から2つ選び、()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 乗務員等の氏名
- イ. 有料道路の通行に係る料金、燃料価格の変動に伴い追加的に必要となる燃料費に係る料金その他の特別に生ずる費用に係る料金
- ウ. 運送の役務の内容及びその対価

() ()

問3【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(過労運転の防止)

貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者又は特定自動運行保安員として選任してはならない者はどれか。次のア～オの中から2つ選び()内に記号で記入しなさい。

- ア. 道路交通法違反により警察から検挙されたことのある者
- イ. 日々雇い入れられる者
- ウ. 試みの使用期間中の者(14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)
- エ. 事務職として採用した正規職員
- オ. 3ヶ月の期間を定めて使用される者

() ()

問4【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運行指示書による指示等)

事業者等は、貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定する乗務を含む運行ごとに、運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者等に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者等に携行させなければならないが、運行指示書に記載しなければならない事項として誤っているものはどれか。次のア～オの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行の開始及び終了の地点及び日時
- イ. 乗務員等の休憩地点及び休憩時間(休憩がある場合に限る。)
- ウ. 運行の経路上で交通取り締まり等が行われている箇所の位置
- エ. 運行の経路並びに主な経過地における発車及び到着の日時
- オ. 乗務員等の氏名

()

問5【貨物自動車運送事業報告規則】（事業報告書及び事業実績報告書）

事業者は、事業報告書及び事業実績報告書を決められた時期に提出しなければならないが、事業者が提出する当該報告書の報告期間及び提出時期のうち、正しいものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び（　　）内にその記号を記入しなさい。

- ・事業報告書は、【 A 】に係るものを【 B 】に【 C 】～提出する。
- ・事業実績報告書は、【 D 】に係るものを【 E 】に【 C 】～提出する。

ア. A：毎年1月1日から12月31までの期間

B：毎事業年度の経過後100日以内

C：所轄地方運輸局長

D：毎事業年度

E：毎年7月10日まで

イ. A：毎事業年度

B：毎事業年度の経過後100日以内

C：所轄地方運輸局長

D：毎年4月1日から3月31までの期間

E：毎年7月10日まで

ウ. A：毎事業年度

B：毎事業年度の経過後100日以内

C：国土交通大臣

D：毎年4月1日から3月31までの期間

E：毎事業年度の経過後100日以内

（　　）

問6 【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

使用者は、貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、次に定めるところによるが、空欄の【 】内に入る正しいものを次のア～クの中からそれぞれ1つ選び、その記号を記入しなさい。

- ① 拘束時間は、1箇月について原則として【 】を超えないものとすること。
- ② 1日についての拘束時間は、【 】を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、15時間とすること。
- ③ 勤務終了後、継続【 】以上の休息期間を与えるよう努めることを基本とし、休息期間が継続9時間を下回らないものとすること。

ア. 4時間	イ. 5時間	ウ. 8時間	エ. 11時間
オ. 13時間	カ. 15時間	キ. 24時間	ク. 60時間
ケ. 193時間	コ. 284時間	ク. 330時間	

試験日	令和8年1月20日	受験番号	
-----	-----------	------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名

受験者の氏名

(注意事項)

- 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るもの）を除く）を指します。
- 設問の文中には、法令上の表現（固有名詞を除く。）を一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を（　　）内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】（事業計画）

貨物自動車利用運送を行わないとして一般貨物自動車運送事業の許可を受けてい
る事業者が、利用運送を行うとする事業計画の変更をしようとするときは、あらかじ
めその旨を、国土交通大臣に届け出なければならない。

（　×　）

問2 【貨物自動車運送事業法】（安全管理規程等）

国土交通大臣は、安全統括管理者がその職務を怠った場合であって、当該安全統括
管理者が引き続きその職務を行うことが輸送の安全の確保に著しく支障を及ぼすおそ
れがあると認めるときは、事業者に対し、当該安全統括管理者を解任すべきことを命
ずることができる。

（　○　）

問3【貨物自動車運送事業法】

(他の一般貨物自動車運送事業者の行う貨物の運送を利用する場合の措置)

一般貨物自動車運送事業者は、自らが引き受ける貨物の運送について他の一般貨物自動車運送事業者の行う運送（自動車を使用しないで貨物の運送を行わせることを内容とする契約によるものを除く。）を利用するときは、当該他の一般貨物自動車運送事業者に係る一般貨物自動車運送事業の健全な運営の確保に資するため、次に掲げる措置を講ずるよう努めなければならない。

- 一 その利用する運送に要する費用の概算額を把握した上で、当該概算額を勘案して利用の申込みをすること。
- 二 自らが引き受ける貨物の運送について荷主が提示する運賃又は料金が前号に規定する概算額を下回る場合にあっては、当該荷主に対し、運賃又は料金について交渉をしたい旨を申し出ること。
- 三 当該他の一般貨物自動車運送事業者が更に他の一般貨物自動車運送事業者の行う運送を利用する場合に關し二以上の段階にわたる委託の制限その他の条件を付すること。
- 四 その他一般貨物自動車運送事業の健全な運営の確保に資するためのものとして国土交通省令で定める措置

(○)

問4【貨物自動車運送事業法】（公衆の利便を阻害する行為の禁止等）

事業者が、一般貨物自動車運送事業の健全な発達を阻害する結果を生ずるような競争をしたときは、国土交通大臣は、事業者に対し、当該行為の停止又は変更を命ずることができる。

(○)

問5【貨物自動車運送事業法施行規則】(事業遂行能力の審査)

国土交通大臣は、貨物自動車運送事業法第3条の規定による許可の申請が同法第6条第3号に掲げる基準に適合するかどうかを審査するに当たっては、次に掲げる事項に関して審査するものとする。

- 1 一般貨物自動車運送事業を適確に遂行するために必要な資金に関する計画
- 2 健康保険法等の定めるところにより納付義務を負う保険料等の支払能力
- 3 貨物の運送に関し支払うことのある損害賠償の支払能力
- 4 一般貨物自動車運送事業を適確に遂行するために必要な法令に関する知識
- 5 前各号に掲げるもののほか、事業を適確に、かつ、継続して遂行するために必要な能力に関する事項

(○)

問6【貨物自動車運送事業法施行規則】(事業の譲渡し及び譲受けの認可申請)

貨物自動車運送事業法に定める一般貨物自動車運送事業の譲渡し及び譲受けの認可申請書には、譲受人が現に一般貨物自動車運送事業を経営している場合にあって、既存の法人にあっては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書を添付しなければならない。

(×)

問7【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(過積載の防止)

貨物自動車運送事業者は、過積載による運送を行うときは、運転者、特定自動車運行保安員その他の従業員に対する適切な指導及び監督を怠ってはならない。

(×)

問8【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(事故の記録)

事業者等が事業用自動車に係る事故が発生した場合に作成する事故の記録について、「事故発生当時の天候」は、貨物自動車運送事業輸送安全規則で定める記録すべき事項である。

(×)

問 9 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運転者等台帳)

事業者等は、運転者が転任、退職その他の理由により運転者でなくなった場合には、直ちに、当該運転者に係る貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定する運転者台帳に運転者でなくなった年月日及び理由を記載し、これを一年間保存しなければならない。

(×)

問 10 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(従業員に対する指導及び監督)

貨物自動車運送事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、当該貨物自動車運送事業に係る主な道路の状況その他の事業用自動車の運行に関する状況、その状況の下において事業用自動車の運行の安全を確保するために必要な運転の技術及び法令に基づき自動車の運転に関して遵守すべき事項について、運転者に対する適切な指導及び監督をしなければならない。この場合においては、その日時、場所及び内容並びに指導及び監督を行った者及び受けた者を記録し、かつ、その記録を営業所において三年間保存しなければならない。

(○)

問 11 【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運行管理者の業務)

運行管理者が行わなければならない業務として、「日常点検の実施結果に基づき、自動車の運行の可否を決定すること。」がある。

(×)

問 12 【自動車事故報告規則】(速報)

事業者等は、その使用する自動車について、2人以上の死者を生じた事故があったときは、電話その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

(○)

問 13 【道路運送法】(有償運送)

自家用自動車は、有償で運送の用に供してはならない。ただし、災害のため緊急を要するときや、公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において、国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するときは、この限りでない。

(○)

問14 【道路運送車両法】(定期点検整備)

一般貨物自動車運送事業の用に供する自動車は12ヶ月ごとに、国土交通省令で定める技術上の基準により自動車を点検しなければならない。

(×)

問15 【道路運送車両法】(自動車検査証の記載事項の変更及び構造等変更検査)

自動車の使用者は、行政区画又は土地の名称の変更により、自動車検査証の記載事項について変更があったときは、その事由があった日から道路運送車両法の定める期間以内に、当該事項の変更について、国土交通大臣が行う自動車検査証の記入を受けなければならない。

(×)

問16 【道路交通法】(駐車を禁止する場所)

車両は、道路交通法に定める規定により駐車する場合に当該車両の右側の道路上に3.5メートル(道路標識等により距離が指定されているときは、その距離)以上の余地がないこととなる場所においては、駐車してはならない。ただし、貨物の積卸しを行う場合で運転者がその車両を離れたとき、若しくは運転者がその車両を離れたが直ちに運転に従事することができる状態にないときは、この限りでない。

(×)

問17 【労働基準法】(労働条件の決定)

労働条件は、労働者が使用者(※)より優位な立場において決定すべきものである。

(※使用者とは、労働基準法第10条で規定されている者をいう。)

(×)

問18 【労働基準法】(年次有給休暇)

使用者は、その雇入れの日から起算して6箇月間継続勤務し全労働日の8割以上出勤した労働者に対して、継続し、又は分割した10労働日の有給休暇を与えなければならない。

(○)

問19 【労働安全衛生法】(重量表示)

一の貨物で、重量が1トン以上のものを発送しようとする者は、見やすく、かつ、容易に消滅しない方法で、当該貨物にその重量を表示しなければならない。ただし、包装されていない貨物で、その重量が一見して明らかであるものを発送しようとするときは、この限りでない。

(○)

問20 【私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律】(総則)

この法律において「不当な取引制限」とは、事業者が、契約、協定その他何らの名義をもってするかを問わず、他の事業者と共同して対価を決定し、維持し、若しくは引き上げ、又は数量、技術、製品、設備若しくは取引の相手方を制限する等相互にその事業活動を拘束し、又は遂行することにより、公共の利益に反して、一定の取引分野における競争を実質的に制限することをいう。

(○)

II. 次の記述について、設問に該当するものを選択肢の中から選び()内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】(運賃及び料金等の掲示)

事業者が、運賃及び料金（個人を対象とするものに限る。）のほか主たる事務所その他の営業所において公衆に見やすいように掲示しなければならないものとして貨物自動車運送事業法で定められているものはどれか。次のア～エの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行管理者資格者証
- イ. 営業区域
- ウ. 運送約款
- エ. 自動車車庫の位置

(ウ)

問2 【貨物自動車運送事業法】(書面の交付)、

【貨物自動車運送事業法施行規則】(書面の交付)

貨物自動車運送事業法および貨物自動車運送事業法施行規則において、運送契約を締結するときに交付しなければならない書面に記載する事項として定められているものはどれか。次のア～ウの中から2つ選び、()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 乗務員等の氏名
- イ. 有料道路の通行に係る料金、燃料価格の変動に伴い追加的に必要となる燃料費に係る料金その他の特別に生ずる費用に係る料金
- ウ. 運送の役務の内容及びその対価

(イ) (ウ)

問3【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(過労運転の防止)

貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者又は特定自動運行保安員として選任してはならない者はどれか。次のア～オの中から2つ選び()内に記号で記入しなさい。

- ア. 道路交通法違反により警察から検挙されたことのある者
- イ. 日々雇い入れられる者
- ウ. 試みの使用期間中の者(14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。)
- エ. 事務職として採用した正規職員
- オ. 3ヶ月の期間を定めて使用される者

(イ)(ウ)

問4【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運行指示書による指示等)

事業者等は、貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定する乗務を含む運行ごとに、運行指示書を作成し、これにより事業用自動車の運転者等に対し適切な指示を行い、及びこれを当該運転者等に携行させなければならないが、運行指示書に記載しなければならない事項として誤っているものはどれか。次のア～オの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行の開始及び終了の地点及び日時
- イ. 乗務員等の休憩地点及び休憩時間(休憩がある場合に限る。)
- ウ. 運行の経路上で交通取り締まり等が行われている箇所の位置
- エ. 運行の経路並びに主な経過地における発車及び到着の日時
- オ. 乗務員等の氏名

(ウ)

問5【貨物自動車運送事業報告規則】（事業報告書及び事業実績報告書）

事業者は、事業報告書及び事業実績報告書を決められた時期に提出しなければならないが、事業者が提出する当該報告書の報告期間及び提出時期のうち、正しいものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び（　　）内にその記号を記入しなさい。

- ・事業報告書は、【 A 】に係るものを【 B 】に【 C 】～提出する。
- ・事業実績報告書は、【 D 】に係るものを【 E 】に【 C 】～提出する。

ア. A：毎年1月1日から12月31までの期間

B：毎事業年度の経過後100日以内

C：所轄地方運輸局長

D：毎事業年度

E：毎年7月10日まで

イ. A：毎事業年度

B：毎事業年度の経過後100日以内

C：所轄地方運輸局長

D：毎年4月1日から3月31までの期間

E：毎年7月10日まで

ウ. A：毎事業年度

B：毎事業年度の経過後100日以内

C：国土交通大臣

D：毎年4月1日から3月31までの期間

E：毎事業年度の経過後100日以内

（イ）

問6 【自動車運転者の労働時間等の改善のための基準】

(貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等)

使用者は、貨物自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間、休息期間及び運転時間については、次に定めるところによるが、空欄の【　】内に入る正しいものを次のア～クの中からそれぞれ1つ選び、その記号を記入しなさい。

- ① 拘束時間は、1箇月について原則として【 シ 】を超えないものとすること。
- ② 1日についての拘束時間は、【 オ 】を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても最大拘束時間は、15時間とすること。
- ③ 勤務終了後、継続【 エ 】以上の休息期間を与えるよう努めることを基本とし、休息期間が継続9時間を下回らないものとすること。

ア. 4時間	イ. 5時間	ウ. 8時間	エ. 11時間
オ. 13時間	カ. 15時間	キ. 24時間	ク. 60時間
ケ. 193時間	コ. 284時間	ク. 330時間	

北陸信越運輸局 (注)受験者数には「欠席者」を含む。

試験日	初回										再試験										合計										却下件数	取下件数	
	受験者数	内訳		合格者数	内訳		不合格者数	内訳		合格率	受験者数	内訳		合格者数	不合格者数	内訳		合格率	受験者数	内訳		合格者数	不合格者数	内訳		合格率							
		新規	譲渡等		新規	譲渡等		新規	譲渡等			新規	譲渡等			新規	譲渡等			新規	譲渡等			新規	譲渡等								
1	R7.5.20	8	8	0	6	6	0	2	2	0	75.0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2	R7.7.22	5	5	0	3	3	0	2	2	0	60.0%	2	2	0	1	1	0	1	1	0	50.0%	7	7	0	4	4	0	3	3	0	57.1%	0	1
3	R7.9.19	11	11	0	5	5	0	6	6	0	45.5%	2	2	0	1	1	0	1	1	0	50.0%	13	13	0	6	6	0	7	7	0	46.2%	0	1
4	R7.11.20	12	8	4	7	4	3	5	4	1	58.3%	6	6	0	4	4	0	2	2	0	66.7%	18	14	4	11	8	3	7	6	1	61.1%	0	2
5	R8.1.20	7	6	1	7	6	1	0	0	0	100.0%	5	4	1	3	3	0	2	1	1	60.0%	12	10	2	10	9	1	2	1	1	83.3%	0	2
6																																	
合計		43	38	5	28	24	4	15	14	1	65.1%	15	14	1	9	9	0	6	5	1	60.0%	58	52	6	37	33	4	21	19	2	63.8%	0	6